



4 親が不登校の子どもと向き合うためには何が必要か

※紹介する事例はプライバシー保護のため、事実と変えているところがあります。

軸を支える土台①

軸を支える「土台」となるのは、子どもによりそったり、むきあったりする経験の日々です。それは、植物でいうなら根っこにあたる所です。

■いじめをきっかけに不登校

シオリさんは、友人関係のもつれからいじめが始まり、中学2年生の時に不登校となりました。夜は、「明日は学校に行くから」と、日課表をそろえますが、朝になると「お腹が痛い」と言って動けなくなりました。

お父さんが専門機関に相談すると、「子どもさんはとても学校に行ける状態ではありません。ゆっくり休ませて下さい。学校のことを考えるのは、エネルギーが溜まってからです。今は、生活リズムを整えるようにして、学校に行かなくても朝は起こすようにして下さい。元気になれば、押しでも良い…」とアドバイスされました。

両親は、シオリさんに「しばらく学校を休もう。でも、朝はちゃんと起きて一緒にご飯を食べるようにしよう。」と伝えました。数日は朝起きてきましたが、しだいに昼頃に起きてくるようになりました。お母さんは「生活リズムが壊れていると、学校に行けるようになった時に困るかもしれない。」と考え、起こすようにしました。

長い時は2時間以上かけて起こしました。当時のことをシオリさんに聞くと「あの時は苦しかったよ。学校の怖い夢を見てうなされることもあったよ。夜は『明日は行くぞ』と思っているけど、朝になると気分が悪くなって…。でも、一番つらいのは、私が学校に行けないと分かった時に、お母さんのハーツとつくため息。電話で学校の先生に謝っている声を聞くと、(学校に行かない私が)お母さんを困らせている感じがして)なんか悪いことをしている気持ちになったよ。」と答えてくれました。

シオリさんの言葉から、とてもつらいことが良くわかります。「学校に行かなくても朝はちゃんと起こす」「充電させれば登校できる」というのは、大人が考えた「子どものために良いこと」です。それは、マニュアル化するものではなくて、一人ひとりの子どもで違います。

■久しぶりの涙

両親は、朝起こしたりすることが、本当に良いことなのか疑問を感じるようになりました。そんな時、インターネットで「星の会」のことを知り、例会に参加してみました。そこには、自分と同じ立場のお母さん達がありました。「一人じゃない」とわかると楽になりました。聞く話は、まるで自分のことのような話でした。

シオリさんのお母さんも、自分の体験を話し始めましたが、涙が出てきてしばらく言葉になりません。その涙を黙って受けとめる人たち…。

いじめを受けて学校に行けなくなったのに、いじめた側の子どもと親は笑顔で過ごしている

怒りや、ゲームばかりしてちっとも頑張ろうとしない(ように見える)子どもへのいらだちや、頑張れない自分は母親失格であるという自己否定等々。今まで誰にも言えずに抑えこんでいた感情を言葉にすることができました。帰り際に、「久しぶりに泣くことができました。ありがとうございました。」と言っていました。

それからの日常が少し変化しました。その変化こそが「軸を支える土台」となるものです。(詳しくは次号で)

お母さんは、当時のことを次のように振り返ります。「朝が来るのがつらかったです。起こしても起こしても返事がないので。でも、朝起こさないと、ますますシオリがダメになっていくようで…。親として何かできることがある、やらないといけないことがあると思っていました。(中略)高い勉強の教材も買いました。シオリが家で勉強するからと言ったので。でも、結局全く使わないで新品のまま残っています(笑)」シオリさんは、今大学生活を謳歌しています。

不登校・ひきこもり情報誌 編集 会議

アウト・サイド OUT SIDE

- 日時 6月17日(金) 13:00~16:30頃
- 場所 ソフィアプラザビル 4階 (大分市東春日町17-19)
- 連絡先 加嶋 (080-2717-9392) ashita@fumiya-kashima.net

不登校・ひきこもり情報誌の編集会議は、「明日が見える」(教育・不登校研究所)の活動です。星の会の活動ではありません。

例会の予定

- 屋の大分例会…7月2日(土)13:00~16:30
- 別府例会…7月2日(土)19:00~21:00
- 豊後大野例会…7月14日(木)19:00~21:30
- 津久見例会…7月8日(金)19:30~21:30
- 夜の大分例会…7月15日(金)19:00~21:30
- 湯布院例会…7月28日(木)19:30~21:30

会報発送のボランティアを募集しています。協力していただける方は河野さんまで連絡をください。



会員さんのお手紙紹介コーナーです

久しぶりに参加しました

広田佳世さん(仮名)

(前半省略)体験が少しでもお役に立てればとの想いで参加させてもらったのですが、相も変わらず的を射ない返答と支離滅裂な経緯の説明で毎回のことですが申し訳ございませんでした。成長ないですね(笑)

対照的に、衛藤さん、河野さんが責任感をもってしっかりとサポートなさっている様子を目の当たりにし、昔の例会とは格段に違うとあらためて感じ入りました。お二人ともお忙しいでしょうに熱心に世話人のお仕事を継続して下さい、本当に頭が下がります。

また、久しぶりに会った友人からも加嶋さんにお会いできて本当に良かった、感謝してるとい話を聞きました。中高と苦勞してましたが、無事に大学を卒業し、今は病院で技師として働いているそうです。

不登校は介入すればする程複雑で、早期退職という判断をなさり、活動を上げていかれたのではと推測させていただいています。(以下省略)

(プライバシー保護のため、事実と少し変えています)

■広田さんは、星の会歴が12年になるお母さんです。その考え方は、子どもと過ごしてきた体験から導きだされています。その軸は確かな土台に支えられています。

会報発送作業

- 6月23日(木)14:00~
- ジョイフル米良店
- お尋ねは河野 (080-5272-9360)まで

おねがい

新しい星の会の

パンフができました

赤い羽根共同募金の助成で、星の会のパンフレットを作成しました。あなたの周りの方に「星の会」を紹介して下さい。

寄付の募集

活動を継続・発展させていくために寄付や切手等の寄贈をお願いしています。力をかけて下さい。尚、寄付・寄贈していただいた方は会報で紹介させていただきます。

郵便振替

<口座記号番号> 01710-8-142651
<加入者名> 不登校を考える星の会